

浄化槽行政の在り方に関する論点について（論点の例示）

- 浄化槽を取り巻く状況と浄化槽の特徴について
 - ・ 環境に対する国民の意識が向上するとともに、循環型社会の形成等が要請されている状況とリサイクル型施設、生活・環境実感型施設である浄化槽の特徴について。
 - ・ 国及び地方公共団体の財政状況と建設費用が安価で人口密度の低い地域で経済的に有利とされる浄化槽の特徴について。
 - ・ 少子高齢化などの社会状況と分散型システムである浄化槽の特徴について。

- 環境保全上健全な水循環の構築に求められる浄化槽の役割について
 - ・ 環境保全上健全な水循環の観点(水質、水量、水生生物、水辺地など)におけるオンサイトの汚水処理システムである浄化槽の位置づけについて。
 - ・ 水環境保全のため、浄化槽の技術が対応すべき小規模事業場対応とその問題点について。
 - ・ 窒素・リン対策など水域等の特性に応じた効率的な浄化槽の指標について。

- 循環型社会で自立する浄化槽システムの構築について
 - ・ 循環型社会の構築を考慮に入れた浄化槽汚泥の処理システムの構築について。
 - ・ 輸送燃料の消費による温暖化防止や効率化によるコスト削減などに考慮した汚泥処理システムの構築について。
 - ・ PFI事業等による民間活力の利用について。
 - ・ 廃止された浄化槽についての3Rの考え方に沿った有効活用、適正処理の方策について。

➤ 今後の浄化槽整備の在り方について

- ・ 汚水処理施設整備が全人口の79.4%まで普及した状況、少子高齢化などの社会状況の変化のなかでの浄化槽の整備方策について。
- ・ 将来、更に人口減少が進んだ場合、既存の汚水処理施設の更新時に過疎化した地域での汚水処理設備再整備について。

➤ 国民の主体的な環境保全活動としての浄化槽の確立について

- ・ 国民が適切に参加できる汚水処理システムとしての浄化槽の確立について
- ・ NPO等の環境保全活動との浄化槽の連携施策について。
- ・ 浄化槽を適正に使用することが水環境保全に役立つことの普及啓発の方法について。

➤ 浄化槽の海外展開について

- ・ 優れた処理機能を持つ浄化槽について海外に周知するなど、浄化槽関係者が海外展開するために支援できる事項について。
- ・ 浄化槽を使った国際貢献について。

➤ 技術開発の促進について

- ・ 今後、浄化槽に求められる機能及び進むべき技術開発の方向性について
 - ⌘ 温暖化を考え電気の使用量を削減した省エネルギー型浄化槽の開発。
 - ⌘ 廃棄の容易性、再生品の利用等の推進。
 - ⌘ 3Rの考えに沿った浄化槽の開発。
 - ⌘ IT技術を応用した浄化槽性能の安定化、維持管理性の向上。
 - ⌘ 窒素リン等処理能力の高度化。
 - ⌘ 設置、維持管理費用の低減。